



病気の子どものきょうだいはこんな気持ちをもちやすいと言われています

「きょうだいの病気って治るのかな？」
「自分も同じ病気になる？」

心配

「何が起ってるのかわからなくて怖い…」
「これからの生活どうなるのかな…」

不安

罪悪感

「自分のせいできょうだいが病気になったのかも…」
「自分だけ学校に行ったりあそんだりしていいのかな…」

プレッシャー

「病気のきょうだいの分も頑張らなくちゃ」
「自分は病気じゃないんだからもっと完璧にできないとだめなんだ」

孤立感

「どうして僕の家だけきょうだいが病気なのかな」
「だれも自分のことは見てくれない」
「自分なんかいなくなったらいい」



がんばるための「安心」の土台や燃料が足りないままがんばりすぎている子も多いです

うちの子の場合は、こんなことを感じているようです

大きくなったきょうだいさんがこんなことを話してくれています



先生や友達に病気のことを聞かれても、わからなくて…
答えられないのがつらかった

自分はしっかしてないとだめなんだって
学校でもいつも気が抜けなかった

病気のきょうだいのことを作文に
書くよう言われるのがいやだった

お兄ちゃんが死んじゃったら
どうしようっていつもこわかった

家の中がバタバタしていて、落ち着いて宿題したり
わからないところを聞いたりできなかった

こんなことも話してくれています

先生が、2人きりの時「がんばってるね」
って言ってくれたのがうれしかった

学校で友達とあそぶ間は
つらいことも忘れられたよ

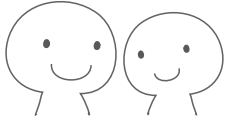
先生が「困ってることはない？」って
ときどき声をかけてくれたんだ

先生も友達も、病気のことが知ってる上で自然に
接してくれたので学校にも行きやすかった



子どもひとりひとり、性格やおかれている状況などによって悩みごとはそれぞれです。
もしマイナスな発言や行動をした時は、否定したり助言する前に、言葉や行動の奥の気持ちと一緒に探してあげてください。先生が見ていてくれたこと、背負っているしんどさやがんばりを知って認めてくれたことは、きょうだいさんにとって大人になってからも大きな支えになります。あたたかな見守りをお願いします。

うちの子の場合は、こんなところを見守っていただけるとうれしいです



うちの子のきょうだいの病気について

こんな病気です

この子から見て、

兄 姉 弟 妹 です。

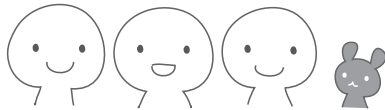
同じ学校にいます。(年 組 担任の先生は 先生です)

今こういう状況です

- 入院中です
- 治療がはじまりました
- 退院して学校に戻ります
- 入学します
-

今、こんなことが心配です

クラスのおともだちには…



- 病気のことは話さないでください
- 聞かれた時は以下のように説明していただきたいです
-

本人には病気についてお友達に聞かれた時はこんなふうに答えるよう伝えていきます

